

(公財)京都伝統産業交流センター		平成28年度経営計画 兼 経営努力結果			
基本事項					
所管局課	産業観光局商工部伝統産業課	本市出えん金	5,000 千円		
基本財産/資本金	11,000 千円	本市出えん率	45.5 %		
「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」					
方向性	存続	目標年度	—		
「今後の方向性」に向けた基本的方針					
業務面	伝統産業に関する普及啓発事業はもとより、伝統産業製品の需要拡大・販売促進事業(外国人観光客などの受入れ環境等も含め)に取り組むことで、伝統産業の活性化を図る。				
財務面	伝統産業製品の需要拡大につながる販売促進や機能充実により、自主財源の確保を目指す。				
組織面	伝統産業界の事情に精通し職人とのネットワークを有する「総合プロデューサー」等の配置などにより、人員体制を強化し積極的かつ安定した財団運営を図る。				
その他	特になし				
当年度の取組目標に対する意見					
所管局	<p>当該財団が運営している「京都伝統産業ふれあい館」は、京都の伝統産業74品目を体系的に理解できる普及・啓発施設として大きな役割を果たしてきたが、伝統産業製品の長期的な需要の低迷が続く中、同館には、普及・啓発にとどまらず、需要の拡大と販売促進を支援する役割を果たすことが求められている。</p> <p>このため、総合プロデューサーを中心とし、増加するインバウンドのニーズを取り込み、販売につなげる工房訪問事業の本格実施や常設・企画展示を活用した販売促進事業、伝統産業の職人と他の業界の人々が交流し、新たなビジネスのきっかけを創出するための異業種交流機能の充実などに重点を置きつつ、より魅力ある施設となるよう抜本的な展示改革を具体的に検討・計画されたい。</p> <p>ほかにも、財務面での健全化・安定化を図っていくことが今後も必要であり、そのための自主財源の確保に向け収益事業等に積極的に取り組み、さらなる財務基盤の強化に努められたい。</p>				
当年度の取組に対する総括					
団体(※)	<p>平成27年度から総合プロデューサーを中心に関連事業の売上向上に向けた取組が定着し、堅調な状況を継続するとともに、新たな需要の掘り起こしにもつながった。</p> <p>また、ふれあい館サロンの開催による職人と他業種との交流促進等、新たな事業も着実に推進した。</p>				
所管局(※)	<p>平成28年度は、新規事業として企画展や芸妓舞台、本格実施した「京都工房コンシェルジュ」、「ふれあい館サロン」を筆頭に、伝統産業の需要拡大に向けて積極的に取り組み、来場者は昨年から微増となった。特に「京都工房コンシェルジュ」は、現代の観光ニーズを捉えたもので非常に好評であったのは評価できる。今後も好調が予想されるので、さらなる増客に向け工房訪問先の拡大やホームページの更新などの充実を図られたい。</p>				
外郭団体総合調整会議(※)	<p>2期連続の当期正味財産増減額の黒字を達成し、新規事業も盛況となるなどの成果が認められる。今後も創意工夫を行い、更なる伝統産業の普及・啓発に貢献していくとともに、本市からの関与の縮減にも取り組んでいただきたい。</p>				

(1)業務に関する取組

目標1 「伝統産業の魅力を伝える普及啓発施設としての機能の充実」

中期経営計画における取組	「ふれあい館」の展示スペースを、伝統産業製品を業種毎に並べるだけでなく、テーマを持たせた展示を行い、常設展、企画展を充実させ伝統産業の普及啓発施設としての機能を強化する。
当年度目標	特別展を年2回程度行う中で、抜本的な展示スペース改善策を検討する。併せて、多言語による案内も充実させる。
当年度結果(※)	ギャラリー展や常設展示の目標は達成できなかったが、その他の活性化の取組を着実に推進した。（工房訪問、職人派遣、ふれあい館サロン開催による職人と他業種との交流など）

指標①	ギャラリー展の年間企画日数						(単位：日)	
	平成26年度		平成27年度		平成28年度			
中期経営計画	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	平成29年度
	—	315	—	320	—	—	325	
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	—	310	315	181	320	—	169	

指標②	常設展示の展示替の点数						(単位：点)	
	平成26年度		平成27年度		平成28年度			
中期経営計画	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	平成29年度
	—	1, 100	—	1, 200	—	—	1, 300	
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	—	422	1, 100	475	1, 200	—	658	

目標2 「販売促進機能の充実」

中期経営計画における取組	展示品の購入希望者が、確実に購入できるようサポートする。外国人観光客の伝統産業製品の制作工房訪問ニーズが高いにも関わらず、受入れ環境が整っていないため、好調なインバウンド消費の機会を取り逃がしている点を改善する。
当年度目標	インバウンド向けの対応を強化する（対応可能なスタッフ増）とともに、工房訪問を紹介する専用ウェブサイトを充実させる。
当年度結果（※）	京都で開催される会議等で配られる記念品など、法人向けの販売に特に努めた結果、大幅に売上が向上した。

指標①	「ふれあい館」を基点にした工房訪問ツアー訪問先開拓件数 (単位：件)						
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
中期経営計画	—		20		40		50
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	—	—	20	20	40	—	38

指標②	展示を契機とした販売額 (展示関連品、オンラインショップ) (単位：千円)						
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
中期経営計画	—		15,000		16,000		17,000
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	—	—	15,000	21,071	16,000	—	40,071

指標③	異業種交流機能の充実 (単位：回)						
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
中期経営計画	—		3		6		6
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	—	—	3	1	6	—	8

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績(※)	
経常収益	56,466	62,832	52,936	69,110	55,000	78,720	
経常費用	56,466	68,137	52,936	56,619	55,000	73,140	
当期経常増減額	0	△ 5,305	0	12,491	0	5,580	
当期正味財産増減額	—	△ 5,305	—	12,491	—	5,580	
資産合計	—	22,387	—	36,400	—	51,846	
負債合計	—	7,432	—	8,953	—	18,819	
正味財産	—	14,955	—	27,446	—	33,027	
うち累積損益額	—	3,955	—	16,446	—	22,027	

目標「事業収入の確保」

中期経営計画における取組	普及啓発事業である摺型友禅染体験、収益事業であるオンラインショップ「京もの専門店「みやび」」の運営を通じて収益を確保するとともに、更なる収入増のため観光業界等と広く連携し、外国人観光客等に向けた伝統産業製品の販売拡大につなげる。
当年度目標	オンラインショップはもとより、京都で開催されるMICE等の記念品需要を取り込んでいく。
当年度結果(※)	オンラインショップの個人向け販売において堅調な状況を保つつつ、学会や会議で配布する記念品の受注など、法人向けの販売に注力した結果、大幅に売上が向上した。

指標	事業収入							(単位:千円)
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
中期経営計画	—		6,500		7,000		7,000	
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	—	6,064	6,500	8,223	7,000	—	16,304	

(3)組織に関する取組

目標 「活性化事業に向けた人員配置」

中期経営計画における取組	京都市からの派遣職員2名及び総合プロデューサーを配置し、積極的かつ安定した事業展開を行う。
当年度目標	総合プロデューサーのリーダーシップの下、展示刷新やインバウンド対応の強化についてはスタッフも増強しつつ積極的に取り組んでいく。
当年度結果 (※)	総合プロデューサーを核として、市からの派遣職員2名と共に活性化に努め、売上の向上や財務基盤の安定化を実現した。

指標	職員数 ※括弧内は嘱託職員数						(単位：人)
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		
中期経営計画	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	—	6 (1)	—	6 (1)	—	—	6 (1)
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	3 (5)	3 (5)	6 (1)	6 (1)	8 (3)	—	6 (2)